

新中学 一年生へ寄贈 「反射タスキ」

2月14日、交通安全協会名和支部が、4月に入学する新一年生へ「反射タスキ」を寄贈しました。

山光美支部長と船越愛二郎副支部長から、名和中学校生徒会交通委員会の野口皓平委員長と林原美晴副委員長に「反射タスキ」が手渡されました。生徒を代表して野口皓平さんが、お礼の言葉とともにこれからも交通安全に気をつけていくことを約束されました。「反射タスキ」は、町内の新中学一年生に贈られることになっており、大山中学校には大山支部から、また中山中学校には、逢坂支部・中山支部から寄贈されました。



▲「これからも交通安全に気をつけます！」(名和中学校)

1位 圓田章三
(林ノ峯)

2位 角田 顕
(塚根)

3位 山根佑太
(住吉)



2月11日、中山公民館将棋教室主催による新春将棋大会が行われました。会場の中山公民館には町内から幅広い年代の将棋愛好者が集まり、熱き戦いを繰り広げました。結果は次のとおりです。(敬称略)



▲勝負を通して親睦も深めていました

盤上での攻防戦
新春将棋大会
中山公民館

今年の 占いは?

～逢坂八幡神社・
管粥神事～



▲米と竹筒を入れ、鉄鍋で炊き上げます

米と竹筒を煮立て、筒の中に入った粥の量で、その年の農水産物の豊凶を占う「管粥神事」が営まれました。逢坂八幡神社の管粥神事は、江戸時代から約270年続く伝統行事で、県内では逢坂八幡神



▲お告げの結果は…

社と倉吉市でのみ行われています。今年も2月17日(旧暦の1月15日)に各集落から総代が集まり、米一升と印が付けた24本の竹筒を鉄鍋で煮て、23品目の農水産物と全体の出来を占いました。金田正志総代長をはじめ、各集落の総代らが見守る中、竹筒が半分に分かれ、粥の詰まり具合を太田貴能ねぎが確認していききました。農水産物全体を占う「大年」は「やや良くない」と出たものの、ブロッコリーや白ネギは「豊作」というお告げとなりました。